

職員における新型コロナウイルス陽性者の報告について(第3報)

令和3年8月15日(日)、介護老人福祉施設東光園の入所部門の職員1名について、新型コロナウイルスのPCR検査にて陽性であったとの連絡があり(当該職員は無症状)、保健所と連携を図りながら、対応を進めております。

保健所のご指導による検査に加え、想定されている感染経路以外による感染の可能性も考え、当該職員の感染成立が疑われる期間の1週間前までに当該職員に接触した可能性のある関係者(職員及び入所者の方)全員の検査を行いました。全てで陰性であるとの報告を得ました。なお、PCR検査の感度は一般に6〜7割程度であり、また、検査のタイミングと体内のウイルス量によっては感染していても陽性として検出できない可能性もあり、当該部署の入所者の方と同部署で日常的に勤務する職員全員に関しては、最低2度のPCR検査を実施いたしました(最終接触から7〜10日後に陰性確認のための検査を追加しました)。

実施した全ての検査で陰性であり、また陽性が判明した職員の最終出勤日から8月27日(金)で14日間が経過するものの、この期間中における体調不良者の出現もなく、本日(8月27日)、保健所に経過のご報告を申し上げ、規定による健康観察期間は終了であるとのことご返答をいただきました。

8月28日以降は通常の運営体制に戻していく予定ですが、ご存知のように福山市内の新型コロナウイルスの流行状況は依然として悪化が止まっておらず、市内の事業所、保育所、学校等でも感染者の報告が多数見られます。広島県も緊急事態宣言の対象となり、また、現在のデルタ株では子供さんを介した感染拡大が少なからずみられることから新学期の学校再開による感染拡大が強く懸念されており、福山市立の公立学校では分散登校を行うなどの対応も発表されていますが、感染拡大の悪化が抑制できるかどうかは、予断を許さない厳しい状況が続くものと予想しております。

職員一同、最大限の努力を継続しておりますが、今後も、職員がそのご家族等を介して新型コロナウイルスに感染する可能性が少なからずあります(職員には昨年春以来、不要不急の外出は控えるように指導を続けておりますが、買い物等の最低限の外出や、ご家族の就労や通学などの通常の社会生活を止めることはできません)。引き続き最大限の警戒を続けるとともに、感染が疑われる場合には、早期の検査と拡大防止に向けた迅速な措置の実施に努めて参ります。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和3年8月27日
社会福祉法人 東光会
特別養護老人ホーム東光園
施設長 岡本 壮介